

この「広報ひこね」は48,400部作成し、1部当たりの単価は10円(1円未満切り捨て)です。ただし、原稿作成・編集などにかかる職員の人件費は含まれていません。

芸術の秋を 鮮やかに彩る 市美術展覧会

第59回(平成22年度)彦根市美術展覧会が9月20日(月)から26日(日)までひこね市文化プラザで開かれました。今年度は、「アートフェスティバル」クラシックの「コラボ」とし、美術展覧会と併せてコンサートや作品講評会を実施し、内容の充実を図りました。

総出品数511点、このうち惜しくも選外となった106点を除く405点が展示されました。一般出品433点の中から、市展賞6点、特選26点、佳作14点、入選281点が選ばれました。また、

過去3年間連続特選受賞などにより、無鑑査となった人の作品から、5点が奨励賞に決まりました。さらに、滋賀県芸術文化祭奨励賞には、書部門で市展賞を受賞した作品が選ばれました。

市展賞、特選および無鑑査奨励賞は、次のとおりです(敬称略)。受賞作品は、彦根市教育委員会ホームページに掲載します。

問い合わせ先 市教育委員会生涯学習課文化振興室 ☎23-7810番、FAX 21-3080番

無鑑査奨励賞
▽きく 舟越弘子(後三条町)

《書部門》
市展賞・滋賀県芸術文化奨励賞

▽飛動 日下和子(甲良町)

特選
▽陸游詩 伊藤舞香(日夏町)

▽臨金冬心 高橋優香(愛荘町)

▽臨何紹基礼器碑 大塚雄介(東近江市)

▽織女 森野美佐子(肥田町)

無鑑査奨励賞

▽白楽天詩 中村哲(小泉町)

《写真部門》

市展賞

▽妖怪 近野光生(堀町)

特選

▽最後の輝き 武藤幹男(松原町)

▽干イカの大群 佐竹鉄次郎(栄町二丁目)

▽華の陣 森下繁雄(開出今町)

▽廃屋の秋 池田誠(旭町)

▽出逢い 三島康嗣(日夏町)

▽彩流 清水時(米原市)

▽愛猫 嶋田加代子(大方町)

▽雄鳥の春 石丸孝(松原町)

無鑑査奨励賞

▽再生への道程 武田吉正(立花町)

表紙の写真

湖東圏域全域における予約型乗合タクシー「愛のりタクシー」の新規路線の導入・既存路線の延伸に伴う出発式が行われ、関係者や地域住民など約80人が参加しました。

愛のりタクシーは、これまで、彦根市では8路線、多賀町で3路線運行していました。

今回、湖東定住自立圏の取り組みとして、既存路線の延伸のほか、新規路線を4路線導入し、計15路線となり、圏域全体で運行することになりました。

出発式では関係者によるテープカットの後、ひこねやんや、たがゆいちゃんが見守るなか、愛のりタクシーが発しました。

- 《日本画部門》
- 市展賞
▽湖の主 小澤弘(山之脇町)
- 特選
▽早春のいぶき 早崎清美(栄町一丁目)
▽キャベツ&デンファレ 曾我光博(肥田町)
▽夏の葦 高田昭子(原町)
- 無鑑査奨励賞
▽山に咲く 深田澄江(日夏町)
- 《注画部門》
- 市展賞
▽夏模様 瀬戸口園子(岡町)
- 特選
▽昭和のロマン 廣瀬巖(松原町)
▽町家(花しようぶ通り) 小田柿弘子(河原一丁目)
▽うみべ 小林知恵子(小泉町)
▽バラの門 那須順子(開出今町)
- 市展賞
▽城下町彦根の夏 山川昌彦(京町二丁目)
▽曾孫との憩い 西沢美代子(京町二丁目)
▽ケヤキの夢 川村嘉則(松原町)
- 無鑑査奨励賞
▽佇む 久川邦代(後三条町)
- 《彫刻部門》
- 市展賞
▽問合 小谷政雄(橋向町)
- 特選
▽ハイパーポーズ 田中亨(米原市)
- 《美術工芸部門》
- 市展賞
▽寄り径 いとう けいろう(地蔵町)
- 特選
▽時空を越えて、今… 尾本真一(八坂町)
▽秋光さして 奥村小夜子(東近江市)
▽野の花のように2010 伊藤美子(東近江市)



滋賀県芸術文化祭奨励賞を受賞した書部門 日下和子さんの「飛動」

人口と世帯数

平成22年10月1日現在

人口	111,799人	(+123)
男	55,107人	(+47)
女	56,692人	(+76)
世帯数	43,316世帯	(+113)

()内は前月との比較



「広報ひこね」は大豆油インキを包含した植物油インキを使用し、印刷は有害な廃液を排出しない水なし印刷を採用しています。廃棄する場合には古紙回収に出してください。